

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.221



発行日 2019年8月7日

発行所

一般社団法人
教育システム情報学会

発行者 柏原 昭博

〒162-0801

東京都新宿区山吹町358番地5

アカデミーセンター

URL <http://www.jsise.org>

E-MAIL secretariat@jsise.org

●○○●○○●○○●○○●○○●◀ も く じ ▶●○○●○○●○○●○○●

第44回全国大会のご案内・・・・・・・・・・2	支部活動報告・・・・・・・・・・19
全国大会プレカンファレンス開催案内	学会 Twitter, Facebook のご案内・・・22
論文執筆チュートリアル・・・・・・・・・・6	他団体協賛・後援のお知らせ・・・・・・・・23
若手研究者向け科研費支援・・・・・・・・8	国際会議のご案内・・・・・・・・・・25
英文誌論文募集・・・・・・・・・・10	会費納入のお願い・・・・・・・・・・26
第3回研究会講演募集・・・・・・・・・・12	事務局より・・・・・・・・・・28
第4回研究会講演募集・・・・・・・・・・14	会員専用ページの案内,
第2回研究会報告・・・・・・・・・・15	学会誌・研究報告バックナンバーのご案内,
研究会年間スケジュール・・・・・・・・・・16	新入会員のご紹介,
研究会報告年間購読・・・・・・・・・・17	入会のご案内
本学会研究会における	
不適切な質問等への対応について・・・・・・・・18	

●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●○○●



第 44 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

テーマ： 知の共有支援技術で支えるレジリエントな学び

<http://www.jsise.org/taikai/2019/>

- 開催日時： 2019 年 9 月 11 日(水) ～ 9 月 13 日(金)
- 会 場： 静岡大学 浜松キャンパス（静岡県浜松市中区城北 3-5-1）
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 大会日程（予定）

1 日目と 2 日目の昼休みには、企業ランチョンセミナーが開催されます。無料で配布されるお弁当を食べながら、参加企業のプレゼンテーションを聴講するセッションです（お弁当は先着順です）。

9 月 11 日（水）	
9:00～11:50	プレカンファレンス
11:50～13:00	昼休み・企業ランチョンセミナー
13:00～15:20	オープニング（大会委員長，現地校挨拶），基調講演（会長），企業セッション
15:40～18:20	インタラクティブ（ポスター・デモ）セッション，一般・企画セッション
9 月 12 日（木）	
9:00～11:50	一般・企画セッション
11:50～13:00	昼休み・企業ランチョンセミナー
13:00～15:20	各種表彰，メインイベント
15:40～18:20	インタラクティブ（ポスター・デモ）セッション，学生研究特別セッション，一般・企画セッション
18:40～20:40	懇親会（会場：静岡大学生協南会館）
9 月 13 日（金）	
9:00～11:50	一般・企画セッション
13:00～13:20	クロージング，大会奨励賞表彰
13:30～15:20	現地主催イベント

(*) 大会日程は変更される可能性があります。

■ 交通アクセスについて

<http://www.inf.shizuoka.ac.jp/access/>

＜JR 浜松駅から＞

JR 東海浜松駅前北口バスターミナル 15,16 番のりばから全路線「静岡大学」下車

（所要時間約 20 分、1 時間に 10 本程度運行）。片道運賃 210 円（2019 年 2 月時点）。

遠鉄バスは自社の電子マネーを採用しており、Suica等の交通系電子マネーには対応しておりませんのでご注意ください（バス車内に両替機がございます）。

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,560円 学生会員：3,240円 非会員（学生以外）：10,800円 非会員（学生）：5,400円 論文掲載料：1,000円（論文一編につき）	一般会員：8,500円 学生会員：4,000円 非会員（学生以外）：12,000円 非会員（学生）：6,500円
全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費] 一般：5,000円 学生：3,000円	[懇親会費] 一般：6,000円 学生：3,000円

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンス、および最終日午後の現地主催イベントの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会参加登録、および参加費の支払いは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更される可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ 基調講演（9月11日（水） 13:20～14:10）

「学習支援システム研究の核心と拡がり」

柏原 昭博（教育システム情報学会 会長、電気通信大学大学院 情報理工学研究科 教授）

○ メインイベント（9月12日（木） 13:20～15:20）

「被災事例から考究するレジリエントな学び」

登壇者：金子 大輔（北星学園大学経済学部 教授）

中野 裕司（熊本大学総合情報統括センター 教授）

三石 大（東北大学教育情報基盤センター 准教授）

水野 浩伸（NTTドコモ東北復興新生支援室 主査）

司会：光原 弘幸（徳島大学）

会場運営：田中 孝治（金沢工業大学）

山本 頼弥（山陽小野田市立山口東京理科大学）

○ 現地主催イベント（9月13日（金） 13:30～15:20）

「大学が取り組む社会人教育の実践と展望 – enPit-Pro Emb の社会人教育の経験を通して –」

パネリスト：山本 雅基（名古屋大学大学院情報学研究科 附属組込みシステム研究センター（NCES） 特任教授、ディレクタ）

塩見 彰睦（静岡大学情報学部 教授）

森 孝夫（株式会社デンソー モビリティエレクトロニクス事業グループ モビリティシステム統括部 モビリティシステム開発部 プロセス開発室 室長）

曾根 卓朗（株式会社アプリックス 技術顧問）

司会：野口 靖浩（静岡大学情報学部 講師）

主催：教育システム情報学会 東海支部

- プレカンファレンス（9月11日（水） 9:00～11:50）
 - 1. 教育・学習支援システム研究における若手研究者の研究態度とは？
採択される科研費申請書の書き方と科研費申請支援制度
 - 2. デジタル教科書導入による学生の学習習慣の可視化の活用
 - 3. 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー
ー ディスカッションベースの論文投稿ファシリテーション ー
 - 4. 標準化を意識した各種学習ツール・教材のプラットフォームとの連携状況
 - 5. AI, LA, AR 活用教育と事例について学ぶオンライン教材
 - 6. プレ学生研究発表会&ライトニングトーク
 - 7. 対話（dialogue）は学習にどのような役割を果たしているのか
- 企画セッション（9月11日（水） 17:00～18:20, 9月12日（木） 9:00～11:50, 17:00～18:20,
9月13日（金） 9:00～11:50）・・・・・・・・・・・・・・（73件）
 - 1. 小型ハードウェアと電子工作による教育システム・ツールの開発（4件）
 - 2. ICTを活用したPBL(problem / project based learning)の支援（4件）
 - 3. SDGs（Sustainable Development Goals）に貢献する教育システム（11件）
 - 4. 対話（dialogue）は学習にどのような役割を果たしているのか（6件）
 - 5. 連携教育やハッカソンなどにおける実践・実務・関心指向の学習支援（9件）
 - 6. AI/ロボット/VR・ARを活用した学習・教育支援のイノベーション・リノベーション（20件）
 - 7. 学習データの先進的・実効的な利活用とその課題（4件）
 - 8. 医療・看護・福祉領域におけるロボット, ICT等活用教育（6件）
 - 9. 新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計（3件）
 - 10. 初等教育におけるプログラミング教育（3件）
 - 11. 実践的なeラーニングと学習支援システムの開発・運用（3件）
- 懇親会（9月12日（木） 18:40～20:40）
静岡大学生協南会館にて開催
- 学生研究特別セッション（インタラクティブ(ポスター・デモ)発表)・・・・・・・・・・（7件）
- 一般セッション（インタラクティブ(ポスター・デモ)発表)・・・・・・・・・・（58件）
- 一般セッション（口頭発表）・・・・・・・・・・・・・・（90件）

1. 遠隔教育（3件） 2. 学習環境デザイン（3件） 3. 学習者特性・行動分析（3件） 4. 学習者特性・行動分析／学習評価・アセスメント（3件） 5. 協調学習・アクティブラーニング（3件） 6. 高等教育（4件） 7. 語学教育（4件） 8. 語学教育／教科教育（4件） 9. コンテンツとプラットフォームの開発（3件）	11. 情報技術教育（6件） 12. 情報リテラシー（3件） 13. スキル学習（4件） 14. 先進的学習支援（7件） 15. 先進的学習支援／分析技術（3件） 16. デバイス活用（3件） 17. 特別支援教育（4件） 18. ブレンディッド学習（3件） 19. プログラミング教育（9件） 20. メディアとデバイスの活用（4件）
--	---

10. 授業設計・インストラクショナルデザイン (3 件) 21. メディアとプラットフォームの活用 (4 件)
22. 連携型教育 (7 件)

■ 講演論文集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し、CD-ROM、および Web による配布としております。Web 版の講演論文集は、2019 年 9 月 2 日(月)に大会参加者のみに公開され、2020 年 3 月 1 日(日)に一般公開されます。

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会
E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp



全国大会プレカンファレンス 反転が生み出す論文投稿のブレークスルー ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

担当者： 学会誌編集委員会

開催日時： 2019年9月11日（水）大会1日目 9:00～11:50

オーガナイザ：瀬田和久（大阪府大）、村上正行（大阪大）、松田憲幸（和歌山大）
後藤田中（香川大）、田中孝治（金沢工業大）、近藤伸彦（首都大東京）、山元翔（近畿大）、
学会誌編集委員会

申し込み締め切り： 2019年8月16日

論文の投稿や査読について、お悩みや不安、疑問はないでしょうか？

本学会の論文カテゴリは「一般論文」、「実践論文」、「ショートノート」、「実践速報」の4つです。たとえば、論文を投稿したいがカテゴリの違いが判然としない、実践論文が満たさなければならない基準って何だろう？、研究を進める上でのポイント・ヒントを知りたい、査読における考え方を整理したいなど、投稿や査読に関するあらゆるお悩み・不安について、編集委員と参加者が知恵を出し合う対話を通して論文投稿のブレークスルーを見い出します。

学会誌編集委員会では2015年まで、全国大会プレカンファレンスとして、チュートリアル『編集担当委員が語るJSiSE論文投稿入門』を実施し、資料および映像をホームページに掲載してきました。

論文投稿チュートリアル：<http://www.jsise.org/journal/tutorial.html>

- ・論文投稿から掲載までの流れ、投稿に際しての注意
- ・論文種別と採録基準 ―現状と改訂の方向性―
- ・査読の観点と査読コメントに対する対応のノウハウ
- ・教育現場の取り組みを実践系論文にまとめるには

これまで、論文投稿に関わる相談会を、上記コンテンツを事前に閲覧・視聴してから、対面の相談・議論に臨む“反転＋ディスカッション”ベースで実施し、参加者からご好評をいただきました。本年度も同様に継続します。投稿を予定しておられるなど、ご相談を希望される方（Advisee）の手順は下記の通りです。多数のご応募お待ちしております。

- 1.【事前】 次のURLから応募ください

<https://forms.gle/ZKdwyst6ZCmPgind9>

- 2.【事前】 チュートリアルを閲覧

3.【当日】 投稿予定の研究や執筆上の懸案を発表

4.【事後】 論文投稿（可能であれば）

※ 希望者多数の場合は学会誌編集委員会で選定します.

※ 事前に発表スライドなどの資料の提出をお願いすることがあります.

問い合わせ： 松田憲幸 matsuda@wakayama-u.ac.jp



若手研究者向け科研費申請支援制度のご案内 およびコメンテータ募集

担当者： 人材育成委員会

教育システム情報学会では、次代を担う若手研究者の自立、研究活動の活性化を積極的に支援することを主旨として、2018年度より科研費申請支援制度を試行しています。

本学会の理事等を中心に、当該分野の科研費審査や獲得経験を有する複数のシニア研究者（匿名）が、提出された申請書に対して、主張点や論旨の明確化、焦点化など、審査員に上手に伝えアピールする視点から、採択に向けたコメントを書面で提供するものです。申請書評価の多様な見方に触れて頂くためにも、学会としてまとめることはしないでコメンテータからのコメントをそのまま提供します。これらを参考材料として申請者ご自身の判断の下で取捨選択しての申請書のブラッシュアップに役立てて頂く主旨のものです。（学会およびコメント提供者は採択に関する責任を負うことはできませんので、予めご承知ください。）

若手研究に加え、今年度から基盤研究（C）も支援対象とします。主として以下の分野を対象にしますが、JSiSEが学際的な領域を対象にしていることから、他の分野でもできるだけ柔軟にお受けしたいと考えていますので、下記問い合わせ先までお尋ねください。

- ・種目：若手研究および基盤研究(C)（ただし、2020年4月1日現在の年齢が40歳未満の方が対象）
- ・分野：
 - ・「大区分A」「中区分9：教育学およびその関連分野」
 - ・09070 教育工学関連
 - ・09080 科学教育関連
 - ・「大区分J」「中区分62：応用情報学およびその関連分野」
 - ・62030 学習支援システム関連

申請者は学会員であることが必要です。

予定スケジュールは以下の通りです。ご所属機関により提出時期が異なることを踏まえ、昨年度同様提出期間に幅を持たせています。

- ・9月中頃：エントリ〆切（代表者氏名、タイトル、応募領域等の基本情報の提出）
- ・9月末頃～10月初旬頃：申請書提出〆切
- 【提出があり次第、コメンテータに申請書を送付します。】
- ・10月初旬～中旬頃：コメント送付

【各コメンテータから提出があり次第、コメントをお返します。】

提出先：jsise-y-support@jsise.org

申請ファイル：申請書のWordまたはPDF（予算明細などの詳細まで埋めていただく必要はありませんが、プレゼンテーションに関するコメントを提供する観点からは、ある程度、内容が固まっている、読み取れる段階でご提出いただくのが望ましいと思われます。）

学会及びコメンテータは申請書に記載された内容について守秘義務を負い、第三者に情報を漏らすことはありません。

また、制度改善のためのアンケートにお応え頂くことがございますので、ご協力をお願いいたします。若手研究者のみなさまの積極的なご活用を期待しております。

お問い合わせ先：jsise-y-support@jsise.org

詳細については今後、ニュース・レター、jnews、学会 HP、Facebook 等を通じて順次ご案内いたします。積極的なご活用を期待しています。

また、9月に開催される全国大会プレカンファレンス(2019年9月11日(水)9時～@静岡大学浜松キャンパス)にて、「採択される科研費申請書の書き方と科研費申請支援制度」と題したチュートリアル(*)も実施します。本チュートリアルは上記の支援制度と連動した企画ですが、内容は若手研究者に限らずみなさまにご参考頂けるものと思われまますので、ご興味のある方は参加をご検討ください。

*教育・学習支援システム若手の会による「教育・学習支援システム若手研究者としてのモチベーションと研究アプローチ」とJSiSE 人材育成委員会の合同企画です。

コメンテータ募集

上記支援制度では本会理事等が中心となりコメント提供にあたることにしていますが、本学会が学際領域を対象としていることから、広く一般の会員の方からもコメンテータを募集しております。上記の若手研究者支援の主旨をご理解頂きご協力頂けると幸いです。お問い合わせ、お申し込みは人材育成委員会 小西 (konishi@inf.shizuoka.ac.jp) までお願いいたします。



英文誌論文募集 (Vol. 19 8 月募集)

担当者： 英文誌編集委員会

※J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

※J-STAGE を通して、Google Scholar, CiNii を初めとする国内外の主要な検索エンジンや学術情報サービスと連携しており、掲載された研究成果は国際的にも認知可能となります。

教育システム情報学会では、2002 年から毎年定期的に英文誌：The Journal of Information and Systems in Education を発行しています。2011 年からは、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルに移行し、国際的な発信力を強化しています。このたび、Vol.19 に掲載する論文を募集いたします。教育システム情報に関連した領域全般を対象としておりますので、是非、この機会に多くの方々にご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思います。下記の要領に沿って、ご投稿いただきますよう、お願いいたします。

○論文種別：

一般論文(Regular Paper), 実践論文(Practical Paper),
ショートノート(Short Note), 実践速報(Report on Practice)

○投稿締切：

2019 年 8 月 31 日

締切までに投稿いただいたものは、2020 年 3 月末までに採録の可否を決定・通知する予定です。採録された論文については校正等の手続きを経たうえで順次 Vol.19(2020)に掲載させていただく予定です。

○投稿要件

- ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- ・投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。

○原稿執筆要領：

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください。

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

○投稿方法

※電子投稿システムを利用して投稿を行ってください。

- ・下記 URL より電子投稿用 Web ページにアクセスしてください。

https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html

- ・初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行ってください。
- ・投稿論文は下記のテンプレートファイル（Word 文書）を用いて作成し、PDF ファイルに出力してアップロードしてください。

<http://www.jsise.org/journal/doc/JSiSE-EPaper-Template140415.doc>

※査読・判定結果の言語の希望（英語または日本語）がありましたら、電子投稿システムの「Comments to the Editorial Office」欄に記入してください。なお、希望にそえない場合がありますので、予めご了承ください。

○編集委員会

委員長：鷹岡亮（山口大学），副委員長：国近秀信（九州工業大学），幹事：小島一晃（帝京大学），合田美子（熊本大学），委員：稲葉利江子（津田塾大学），入部百合絵（愛知県立大学），加島智子（近畿大学），小暮悟（静岡大学），林佑樹（大阪府立大学），平井佑樹（信州大学），松浦健二（徳島大学），宮澤芳光（東京学芸大学）



2019 年度 第 3 回研究会 講演募集

担当者： 安間文彦（サイバー大学）、三好康夫（高知大学）、小西達裕（静岡大学）

下記の通り、教育システム情報学会（JSiSE）2019 年度第 3 回研究会を行います。みなさまぜひご参加ください。

■テーマ：高等教育機関における e ラーニング実践／一般

■開催日時： 2019 年 9 月 20 日（金）

■開催場所： サイバー大学福岡キャンパス(福岡県福岡市)

福岡県福岡市東区香椎照葉 3-2-1 シーマークビル 3 階

https://www.cyber-u.ac.jp/about/support_facilities.html

■趣旨：

本年度第 3 回研究会は、「高等教育機関における e ラーニング実践／一般」のテーマで実施いたします。近年、高等教育における e ラーニングは一般的となり、多くの教育機関で e ラーニング実践が展開されています。対面授業と組み合わせたブレンディッド型の e ラーニングのみならず、通信教育課程をもつ大学のようにフルオンラインでの講義を前提とした e ラーニング実践も増加しています。それと共に、e ラーニング基盤を用いた大学間での単位互換の取り組み、コンテンツの共有、教育の共同実施なども展開されつつあります。本研究会では、高等教育機関の e ラーニング実践におけるさまざまな知見や運用における課題などを議論します。具体的には、LMS や e ポートフォリオなどのプラットフォーム開発や運用、コンテンツ開発環境の構築、オンライン上での演習・実習科目の実践、モバイル学習環境、クラウド環境の活用、履修継続のための学習支援、教育の質保証のための授業改善、単位互換制度やコンテンツ共有などの大学間連携の取り組みなど、幅広い観点から発表を募集します。

また、一般テーマとして、教育実践や教材評価、カリキュラムの設計、学習科学、言語教育など教育の幅広い実践や教育情報システムやコンテンツの開発、運用まで本学会に関連する分野全般からの発表も歓迎いたします。職場の同僚や共同研究をしているグループなど、お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

■発表申込締切：2019 年 8 月 5 日（月）

■発表原稿提出締切：2019 年 8 月 21 日（水）

■発表申込および原稿提出

下記 URL の当学会ウェブサイトより研究会開催のご案内にアクセスし、お手続きください。

https://www.jsise.org/society/committee/2019/CFP_3rd.html

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

・研究会執筆要領：

<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

・研究会報告見本：

<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

・研究会報告ひな形：

<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

・オンライン講演申込・原稿投稿方法：

<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 8 分）です。

■参加費等：

研究会への参加は無料ですが，登壇者の方で研究報告の年間購読をされていない方には，当日分のオンライン研究報告集の購入(1,000 円)をお願いしております．詳しくは以下の Q&A を御覧ください。

<http://www.jsise.org/society/faq.html>

■研究報告集について：

研究報告は電子化されています．年間購読をお申し込みの会員の方は，研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで閲覧できます．非会員の方や，年間購読を申し込まれていない方は，当日，受付で研究報告集代(1,000 円)をお支払いただいた上で，インターネット経由でダウンロード，または受付に準備する USB メモリーからコピーできます．詳しくは以下のページをご覧ください。

http://www.jsise.org/utility/information/howto_jrr.html

なお，年間購読(4,000 円)をお申し込みいただくと，年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます．申込方法等については，以下のページをご覧ください。

<http://www.jsise.org/utility/information/20160222.html>

■お問い合わせ先：

安間文彦 (第 3 回研究会担当委員，サイバー大学)

E-mail: fumihiko_anma@cyber-u.ac.jp



2019 年度 第 4 回研究会 講演募集

担当：小尻 智子(関西大学), 柏原 昭博(電気通信大学), 曾我 真人(和歌山大学)

長谷川 忍(北陸先端科学技術大学院大学), 松浦 健二 (徳島大学)

■テーマ：スキル支援ためのシステムティックな環境デザイン／一般

■開催日時：2019年11月9日 (土)

■会場：関西大学千里山キャンパス (予定)

■趣旨：本年度第4回研究会は昨年度に引き続き「スキル支援ためのシステムティックな環境デザイン／一般」のテーマで実施いたします。様々なスキル学習支援，同獲得・開発支援に関する研究がなされています。スキルとは，身体性と知性といった二元論的発想は既に支配的考え方ではなくなり，またその対象には，数学，語学といった分野から，音楽，芸術，スポーツ，医療，プログラミングなどあらゆる学習可能な分野に広がって捉えられています。その支援研究のアプローチの中心には，人間の暗黙知，経験値を形式知化して，伝達・表現することの重要性があり，これまでも多数の研究者が主張しているところです。ただし，身体知の個別性がもたらす支援や理解の困難さは，対象領域ごとの問題として明確に意識した適応的研究アプローチが必要であり，システムのモニタリング，分析，動的な支援エンジンなどが一般に必要です。

昨年度は，支援手法，構造記述方法，評価手法，またそれらを支える支援技術に関して多くの報告があり，活発な議論を行うことができました。本年度も引き続き，学習モデル，学習分析，技術開発，実践・運用，評価など多様な観点について議論するとともに，スキル学習を支援するためのシステムティックな支援環境の在り方について広く議論できればと思います。また，このようなテーマに沿った内容に限らず，本学会の取り扱う領域における一般の研究発表も受け付けますので，多くの皆様からのご発表の申込みを期待しています。（発表時間は 25 分（発表 18 分、質疑 7 分）を予定）

■ 発表申込締切 2019 年 9月24日 (火)

■ 発表原稿提出締切 2019年10月10 日 (木)

■ 発表申込および原稿提出は，下記、研究会ページよりお願いします。

<https://www.jsise.org/society/committee.html>

※ 申込者情報，登録申込者ログインは9月下旬にオープンいたします。

研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法

<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

お問い合わせ先：関西大学 小尻智子 (E-mail : kojiri@kansai-u.ac.jp)



2019 年度 第 2 回 研究会開催報告

担当者： 不破泰(信州大), 小松川浩(千歳科技大), 布施泉(北大)
金子大輔(北星学園大), 野崎浩成(愛教大)

■テーマ：ICT を活用した学修支援／一般

■開催日：2019 年 7 月 14 日(日) 10:00-17:00

■会 場：千歳市民文化センター（北海道千歳市）

■概 要：2019 年度の第 2 回研究会は，7 月 14 日（日），千歳市の千歳市民文化センターにて「ICT を活用した学修支援/一般」というテーマで開催されました．公立千歳科学技術大学の協賛で，千歳駅近くの千歳市民文化センターを借りて実施しました．研究会の運営には，研究会委員以外にも同大学の山川広人先生，石田雪也先生にお手伝いを頂きました．

研究内容は，プログラミング教育の質向上，モバイルデバイスを活用した教育手法，e ラーニング活用と実践事例，ICT を活用した共同学習，ICT を活用した教育手法・評価等と多様なテーマとなりました．さらに，教育の質保証を図っていく上で重要となるテーマに関連して大変多くの研究発表がなされました．最終的には，研究発表 18 件，参加者数 32 名でした．連休の中日で北海道で他のイベントもあり宿泊も難しい中，それでも多くの北海道以外の参加者にご参加頂きました．研究会では，活発な質疑も頂き，とても有意義な時間を過ごすことができました．なお，今回発表されたタイトルは以下の通りです．

- 写経型プログラミング学習における無作為修正者の検出
- オブジェクト指向プログラミングの利便性に着目した学習手法
- 初学者に向けたプログラミング多重ループの効果的な学習方法について
- タブレット PC を用いた運筆情報と画像処理によるペン習字上達支援方法の検討
- 英文読み合い支援メディアとしてのロボットとタブレットシステムの比較
- スマートデバイスを用いた弦楽器のコード押弦を体験的に学ぶスキル学習支援システム
- クイズ作成を題材とした小学校プログラミング教育の研修プログラムの提案と効果の検証
- TVML と連携した問題出題に関する検討
- Web 調べ学習における適応的な部分課題推薦手法の評価
- e ラーニングシステムを活用した入学前教育におけるプレ・ポストテスト得点にみる学習傾向分析
- 3DCG による教師キャラクタを用いた動画教材作成システム
- ICT とネット社会の危険性について
- PBL ワークフローモデルに基づくテーマの類型化
- 基礎・教養科目のための社会人基礎力向上を目指した情報教育プログラムの開発
- ロボット教材を用いた個別学習を連携した協調学習
- ビデオ講義を対象とした協同学習における学習者の動作の分析 (第 3 報)
- 数学 e ラーニングシステム STACK を用いた計算問題の誤答分析
- フルオンデマンド型全学数学基盤教育におけるルーブリックの活用



2019 年度研究会開催スケジュール

2019 年度の年間スケジュールは下記のとおりです。

詳細は、学会ウェブページ (<http://www.jsise.org/society/committee.html>) を御覧ください

第3回 9月20日(金) サイバー大学福岡キャンパス(福岡県福岡市)

高等教育機関におけるeラーニング実践／一般

申込み締切：8月5日(月) 原稿締切：8月21日(水)

第4回 11月9日(土) 関西大学千里山キャンパス(予定)

スキル支援ためのシステムティックな環境デザイン／一般

申込み締切：9月24日(火) 原稿締切：10月10日(木)

第5回 2020年1月中旬 山口大学吉田キャンパス

新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般

申込み締切：11月26日(火) 原稿締切：12月11日(水)

第6回 2020年3月中旬 静岡産業大学(予定)

持続可能なプログラミング教育実践／一般

申込み締切：2020年1月27日(月)(予定) 原稿締切：2020年2月13日(木)(予定)

特集 2020年3月中旬 静岡産業大学(予定)

未定

申込み締切：2020年1月27日(月)(予定) 原稿締切：2020年2月13日(木)(予定)

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願いいたします。



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- ・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回, 特集研究会 1 回, 計 7 回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究会報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



教育システム情報学会研究会における 不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

北 信 越 支 部 よ り 活 動 報 告

電子情報通信学会 信越支部大会における 教育システム情報学セッション開催のご案内

北信越支部では、9月28日（土）に長岡技術科学大学にて開催される電子情報通信学会 信越支部大会において、教育システム情報学に関するセッションを主催いたします。北信越地区に限らず、同分野に関して多くの研究者・学生が集まる機会として、ご活用いただきますようお願いいたします。

講演申込・原稿投稿などに関する日程は、以下のとおりです。

8月5日（月）17時：講演申込および原稿投稿締切

9月2日（月）17時：懇親会申込・バス利用申込締切

※ 送迎バスの申し込みは先着順で定員になり次第締め切りとなります。

詳しくは電子情報通信学会 信越支部の Web ページをご参照ください。

電子情報通信学会 信越支部：<https://www.ieice.org/shinetsu/>

関西支部より活動報告

関西支部 2019 年度支部総会 開催報告

担当者： 関西支部 支部長 安留誠吾（大阪工業大学）

2019年度関西支部総会を平成31年5月26日(日)に大阪電気通信大学 駅前キャンパスにて実施しました。
関西支部会員 265名、出席者 16名、委任状提出 30名で総会は成立しました。

概要

報告事項

1. 2018 年度事業報告
2. 2018 年度会計報告
3. 支部長・副支部長の選挙結果
4. 支部運営委員
5. その他

審議事項

1. 2019 年度事業計画案
2. 2019 年度予算案
3. 支部役員案（支部幹事の選出）
4. その他

※総会資料は、<http://www.jsise.org/~kansai/events.html#meeting> に掲載していますので詳細はこちらをご覧ください。

第 1 回関西支部研究会

担当者： 西端律子（畿央大学）、小川修史（兵庫教育大学）

平成 31 年 5 月 26 日(日)に 2019 年度関西支部総会終了後、同会場(大阪電気通信大学駅前キャンパス)にて第 1 回関西支部研究会を開催しました。

◎14:15 挨拶

◎14:20 招待講演（45 分）

高田裕美、盛田辰彦（(株)モリサワ）

◎15:10 トークセッション 1（30 分）

「当事者の高校生に聞く，合理的配慮に対するホンネ」

奈良県立王寺工業高校・松谷知直

兵庫教育大学・小川修史

モデレータ：西端律子（畿央大学）

◎15:40 トークセッション 2（45 分）

「教育現場における UD フォントの可能性」

(株)モリサワ・高田裕美

奈良県立教育研究所・小崎誠二

モデレータ：盛田辰彦（(株)モリサワ）

◎16:30 閉会の挨拶



Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より，全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました．本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております．本学会へのご質問・お問い合わせは，学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします．また，Facebook アカウントとの連携も行っており，Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので，ぜひご活用（フォロー）ください．

<https://twitter.com/JsisePr>

✧ 2019 年 7 月 26 日現在，フォロワー数 223 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています．本ページでは，

- ・ 論文・発表募集
- ・ 本学会に関連するイベントの情報

などを，いち早くお届けします．ぜひ，ご覧下さい．

Facebook ユーザの方は，ぜひ，「いいね」をお願いいたします．

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

✧ 2019 年 7 月 26 日現在，いいね 362 件，390 人フォロー





他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

協賛 「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2019」

日時：2019 年 9 月 2 日（月）～5 日（木）

会場：同志社大学

協賛 「2019 年度工学教育研究講演会」

日時：2019 年 9 月 4 日（水）～6 日（金）

会場：東北大学川内北キャンパス

協賛 「第 21 回日本感性工学会大会」

日時：2019 年 9 月 12 日（木）～14 日（土）

会場：芝浦工業大学 豊洲キャンパス

後援 「全国高等専門学校第 30 回プログラミングコンテスト」

日時：2019 年 10 月 13 日（日）～14 日（月）

会場：都城市総合文化ホール

協賛 「e ラーニングアワード 2019 フォーラム」

日時：2019 年 11 月 13 日（水）～15 日（金）

会場：ソラシティ カンファレンスセンター

後援「日本 e-Learning 学会 第 22 回学術講演会」

日時：2019 年 11 月 30 日（土）

会場：上智大学 四谷キャンパス

協賛「モバイル' 20」

日時：2020 年 3 月 6 日（金）・7 日（土）

会場：筑波大学 筑波キャンパス

後援「情報オリンピック日本委員会」

①第 19 回日本情報オリンピック

日時：一次予選 2019 年 9 月 21 日（土）、10 月 27 日（日）、11 月 16 日（土）

二次予選 2019 年 12 月 8 日（日）

本選 2020 年 2 月 8 日（土）・2 月 9 日（日）

②日本情報オリンピックジュニア大会「ビーバーコンテスト 2019」
詳細未定



国際会議のご案内

- 2019 年 12 月開催
 - IEEE TALE2019: The IEEE International Conference on Teaching, Assessment, and Learning for Engineering 2019
開催期間 : December 10 - December 13, 2019
開催地 : Yogyakarta, Indonesia
URL: <http://tale2019.org/>
テーマ: Creative & Innovative Education to Enhance the Quality of Life
投稿期限 : Paper Submission Due: June 28, 2019 (締切済み)



会費納入のお願い

6月27日に2019年度会費納入のお願いをメールでお送りしましたので、納入をお願いします。2018年度会費未納の方はそちらも合わせてお願いします。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いします。

「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【2018 年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に 2018 年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。（2019年5月25日～2019年7月24日）

会員名	会員種別	会員名	会員種別
高橋 晃	正会員	大沼 亮	正会員
田中 省作	正会員	野口 聡子	正会員
竹中 裕樹	学生会員	浦井 孝文	正会員
島 治季	学生会員	岡部 大介	正会員
石井 稜悟	学生会員	鈴木 和也	正会員
長嶋 啓太	学生会員	箭野 柊	学生会員
椎木 卓巳	学生会員	石井 隆司	正会員
松浦 史子	正会員	若栗 佳介	正会員
長谷 海平	正会員	榊原 雄輝	学生会員
立花 隼一	学生会員	大墨 礼子	正会員
田中 健司	学生会員	小竹原 祐希	学生会員

（計 22 名）